

昇順	体系分類 1 コード	体系分類 1	体系分類 2 コード	体系分類 2	取組 コード	取組	取組略称	重要 課題 位置 づけ 状況	第1 次計 画と の関 連	現状	実施方針区分	関連する数値目標	備考	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	
1	1	中小企業の創業の促進を図る	①	創業希望者の発掘・確保及び育成	a	商工会や商工会議所（以下「商工団体」といいます。）による窓口相談や創業塾等により、創業希望者が創業に向けて具体的な検討ができるように支援します。	窓口相談や創業塾等の開催		継続	市：創業支援等事業計画の認定（R1.6.12～R7.3.31） 市・商工会：経営発達支援計画（R5.4.1～R10.3.31） 商工会：経営発達支援計画に基づく伴奏型支援（創業支援等事業計画に基づく創業塾はR4で終了） 商工会議所：創業塾	継続	1-1_創業塾、創業セミナー、個別講習の参加人数（人）						窓口相談及び伴奏型支援の実施	
2	1	中小企業の創業の促進を図る	①	創業希望者の発掘・確保及び育成	b	嘉麻市創業支援等事業計画に基づき、商工団体、金融機関等と行政機関が連携を密にし、創業希望者や創業間もない方へ、段階に応じた情報提供や指導等、きめ細かなサポートを強化していくことで、創業の実現と安定した経営を目指します。	段階に応じた情報提供や指導等のサポート強化		継続	市：支援証明書の発行、創業相談窓口、移住定住起業チャレンジ支援事業補助金など 商工会・商工会議所：創業相談窓口、巡回指導、伴奏型支援、事業承継支援	継続	1-2_市の支援制度や創業塾、個別講習を利用した創業者数（人）						伴奏型支援の実施	
3	1	中小企業の創業の促進を図る	①	創業希望者の発掘・確保及び育成	c	移住定住起業チャレンジ支援事業補助金の継続的实施に加え、首都圏や福岡都市圏へのPRを行い創業希望者の発掘・確保に努めます。	移住定住起業チャレンジ支援補助金の実施及びPR		新規	・移住定住起業チャレンジ支援事業補助金の実施、適宜見直し ・制度の周知（HP、シティ情報ふくおか ほか）	強化	1-2_市の支援制度や創業塾、個別講習を利用した創業者数（人）						補助事業の実施、効果検証、見直し	
4	1	中小企業の創業の促進を図る	①	創業希望者の発掘・確保及び育成	d	また、市の既存施設を活用したインキュベーション施設等についても検討し、創業しやすい環境づくりを進めます。	創業しやすい環境づくり		新規	-	新規								調査・研究
5	1	中小企業の創業の促進を図る	①	創業希望者の発掘・確保及び育成	e	地域での起業意識の向上を図るため、市内の小中学校、高等学校において地元の創業者による社会人講話を通じて、次世代を担う子供たちのチャレンジマインドの育成を図る取り組みを支援します。	学生の起業意識の醸成のための取組支援		継続	・第1次計画では市が主な実施主体となっていた ・稲築東中学校で社会人講話に協力したが、生徒の感想をみるかぎり効果は薄い。ビジネスプランの立案や模擬店運営など実践的な事業に切り替えたほうが良いのでは。（商工会R4事業報告）	継続	1-1_創業塾、創業セミナー、個別講習の参加人数（人）						市内小中学校等への社会人講話の実施、手法の見直し	
6	1	中小企業の創業の促進を図る	①	創業希望者の発掘・確保及び育成	f	創業者を増やすことを目的に、*地域おこし協力隊を活用した創業モデル事業に取り組みます。	地域おこし協力隊を活用した創業モデル事業		継続	・嘉麻スタイルが移住定住イベント実施 ・移住定住企業チャレンジ支援事業補助金の実施	継続	1-2_市の支援制度や創業塾、個別講習を利用した創業者数（人）						起業支援	
7	1	中小企業の創業の促進を図る	②	事業計画策定及び資金調達の支援	a	創業意欲を持つ人が、確実な経営ができるよう、商工団体の経営指導員が創業時の事業計画策定を支援するとともに、創業後も事業が軌道に乗るよう、継続的なフォローアップを行います。	事業計画策定の支援及び継続的なフォローアップ		継続	・経営指導員及び専門家による補助金申請、事業計画策定支援、創業後の定期巡回、課題のフォローアップ	継続	1-1_創業塾、創業セミナー、個別講習の参加人数（人）						経営指導員等による支援及びフォローアップ	
8	1	中小企業の創業の促進を図る	②	事業計画策定及び資金調達の支援	b	開業資金等、既存の資金調達支援制度の利用を促進するなど金融機関との連携を図りながら、創業時に必要となる資金の円滑な調達を支援します。	開業時に必要な資金の円滑な調達支援		継続	市：創業支援講座の支援証明の発行、セーフティネット認定など 商工団体：実践創業塾や個別相談による支援、マル経資金申請対応 ・チャレンジ補助金の支援があっても資金ショートする事例が散見される。吉富町のチャレンジショップ事業（コンテナ式店舗の貸出）やコワーキングスペースの提供などあれば起業ハードルは下がるのでは（R4商工会事業報告） ・物価高が事業計画に支障（R4商工会議所事業報告）	継続/要検討	1-2_市の支援制度や創業塾、個別講習を利用した創業者数（人）						開業資金融資、補助金等の情報提供	
9	1	中小企業の創業の促進を図る	③	その他創業の促進を図るために必要な施策	a	空き家バンクなどを活用し、市外からの移住定住に結びつく創業の促進を図ります。	空き家バンクなどを活用した移住定住・創業の促進		継続	・空き家バンク制度、移住定住起業チャレンジ補助金、結婚新生活支援事業補助金、転入者等住まい応援交付金の実施	継続	1-2_市の支援制度や創業塾、個別講習を利用した創業者数（人）						補助事業の実施、効果検証、見直し	
10	1	中小企業の創業の促進を図る	③	その他創業の促進を図るために必要な施策	b	創業者相互の連携組織化を支援し、ネットワークを構築していくことで、更なる創業者の呼び込みを図ります。	創業者（起業家）ネットワークの構築		継続	・連携組織はないが、ネットワークを持たない創業希望者の支援として、商工団体が個別対応していると思われる ・第1次計画のR2事業評価では実績なし。主な事業主体は商工団体となっていた	継続	1-1_創業塾、創業セミナー、個別講習の参加人数（人）						調査・研究	
11	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	①	デジタル化促進に向けた支援	a	中小企業のデジタル化の促進を支援することで、社内の生産性の向上だけではなく、将来的には新たな価値の創造につながる取り組みを行います。	デジタル化の導入及び促進支援	重	新規	・経営革新計画遂行支援事業（デジタル化）、先端設備等導入計画の認定	新規	2-2_企業におけるデジタル化進捗割合（％）						現状調査、目標設定 調査報告 進捗調査 補助事業の実施、効果検証、見直し	
12	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	①	デジタル化促進に向けた支援	b	嘉麻市および商工団体において、経営におけるデジタル化の必要性の啓発を行います。	経営におけるデジタル活用の啓発	重	新規	・商工団体によるデジタル化に関する講習等開催 ・中小企業へのデジタル化推進は商工会が担う。市は市民のデジタルディバイドの解消を期待する（R4商工会事業報告）	新規	2-2_企業におけるデジタル化進捗割合（％）						経営指導員等による支援及びフォローアップ 情報発信の強化、アンケート・進捗調査の実施	
13	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	①	デジタル化促進に向けた支援	c	嘉麻市として、デジタル化促進の取り組みを支援する補助金制度を設けます。	デジタル化促進事業の活用	重	新規 加	・R5に経営革新計画遂行支援事業にデジタル化支援を追加 ・先端設備等導入計画の認定、導入等促進計画の更新	新規	2-1_補助金利用数_デジタル化促進支援（件）						補助事業の実施、効果検証、見直し	

昇順	体系分類 1 コード	体系分類 1	体系分類 2 コード	体系分類 2	取組 コード	取組	取組略称	重要課題 位置づけ 状況	第1次計画との 関連	現状	実施方針区分	関連する数値目標	備考	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
14	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	①	デジタル化促進に向けた支援	d	デジタル化の促進に向け、商工団体および嘉麻市において、成功先進事例などの情報提供を行います。	成功事例の情報提供	重	新規	・情報発信を強化する	強化	2-2_企業におけるデジタル化進捗割合（％）		成功事例の調査、情報提供の強化				
15	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	①	デジタル化促進に向けた支援	e	商工団体や福岡県、嘉麻市の持つデジタル化促進に向けた相談窓口の紹介を行います。	デジタル相談窓口の紹介	重	新規	・相談があれば随時対応	継続	2-2_企業におけるデジタル化進捗割合（％）		相談に応じて適宜対応				
16	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	②	経営に関する相談及び指導の充実	a	商工団体の経営指導員等による巡回指導や窓口相談等により、金融、財務、労務、社会保険、経営技術の改善等、中小企業の経営全般にわたる支援を行います。	経営指導員等による巡回指導や窓口相談		継続	・経営指導員による巡回、窓口における金融指導、税務相談、労務相談等の受付、補助金申請等の実施 ・事業承継センター、飯塚中小企業振興事務所と連携して専門家派遣を実施	継続	2-3_商工会・商工会議所の相談・指導件数（件）		伴走型支援の実施				
17	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	②	経営に関する相談及び指導の充実	b	商工団体や金融機関と連携し、専門家の活用を図りながら、経営革新や経営力向上等のセミナーを開催します。	専門家派遣やセミナー開催による支援		継続	・商工団体、かまらぼが各種セミナーを実施	継続	2-3_商工会・商工会議所の相談・指導件数（件）		専門家派遣の活用、セミナーの開催				
18	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	②	経営に関する相談及び指導の充実	c	商工団体と定期的に協議の場を設けて、情報を共有することにより、中小企業の相談支援体制の強化を図ります。	行政と商工団体との定期的な協議の場の設置		継続	・随時協議している	継続	2-3_商工会・商工会議所の相談・指導件数（件）		情報共有のための会議の開催				
19	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	③	経営基盤強化に係る計画策定の促進	a	独自の技術ノウハウを持った創造的中小企業を育成するため、中小企業の経営革新計画/事業計画の策定を支援します。（4-1-bで再掲）	経営革新計画/事業計画の策定支援		継続	・商工団体による経営革新計画、事業計画策定支援の実施	継続/要検討	2-5_事業計画の策定事業者数（社）	（関連目標） 2-3_商工団体の相談指導件数の増 2-4_経営革新計画の策定事業者数の増	巡回指導や窓口相談の実施				
20	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	③	経営基盤強化に係る計画策定の促進	b	計画策定後も継続的なフォローアップを行うとともに、計画遂行に必要な情報提供などの支援を行います。（4-1-eで再掲）	計画策定後のフォローアップ		継続	・商工団体によるフォローアップの実施	強化	2-3_商工会・商工会議所の相談・指導件数（件）		経営指導員等による支援及びフォローアップ				
21	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	④	円滑な資金調達の支援	a	国や県が行う中小企業向けの低利融資制度の活用を支援します。	国・県が行う低利融資制度の活用支援		継続	・商工団体による公庫資金等のあっせん（公庫と連携しマル経融資など）	継続	2-3_商工会・商工会議所の相談・指導件数（件）		巡回指導や窓口相談の実施				
22	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	④	円滑な資金調達の支援	b	新分野への参入や新たな事業展開等、経営基盤の強化に取り組む中小企業に対し、関係機関の支援制度など必要な情報を提供します。	各種支援制度の情報提供		継続	・市と商工団体より各種支援制度に関する情報を会報やHP等で発信	強化	2-3_商工会・商工会議所の相談・指導件数（件）		巡回指導や窓口相談の実施、情報提供の強化				
23	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	④	円滑な資金調達の支援	c	中小企業の生産性向上に資する設備投資の促進を図るため、税制面での優遇措置及び補助金制度の創設を検討します。	設備投資を促進する税優遇措置及び補助金制度創設の検討		継続	・先端設備等導入計画の認定（固定資産税の軽減措置）、経営革新計画遂行支援事業のデジタル化への対応	強化	2-8_補助金利用数_雇用創出・維持に向けた支援（件）		先端設備等導入計画の認定 補助事業の実施、効果検証、見直し				
24	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	⑤	展示会・商談会等を活用した販路開拓の促進	a	商工団体と連携し、展示会商談会等の開催、出展等を支援し、新たな販路を創出していきます。	展示会や商談会への出展支援（出展支援）		継続	・商工会がかつて実施していたが、R2コロナ以降は未実施 ・誘致企業振興会として、ものづくりフェア@マリンメッセに出店	強化	2-6_市外での商談会・展示会等への出店事業者数（社）		販路開拓イベント等の開催・出展支援				
25	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	⑤	展示会・商談会等を活用した販路開拓の促進	b	県や関係機関等が開催する物産展や商談会の情報を提供します。	展示会や商談会への出展支援（情報提供）		継続	・HPなどで情報提供	強化	2-6_市外での商談会・展示会等への出店事業者数（社）		販路開拓イベント等の開催・出展支援				
26	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	⑤	展示会・商談会等を活用した販路開拓の促進	c	また、商工団体との連携により、オンライン商談会などデジタル化に向けた対応を支援します。	展示会や商談会への出展支援（デジタル化対応支援）		新規	・オンライン商談会の実績なし	継続	2-6_市外での商談会・展示会等への出店事業者数（社）		デジタル化に対する相談対応、専門家の活用				
27	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	⑥	雇用の創出・維持に向けた支援	a	嘉麻市内に多くの雇用を創出するため、工業団地の新規整備を計画しており、適地調査を行い、可能性調査を経て企業立地を促進する拠点を整備します。	工業団地の整備に関する検討	重	新規	・工業団地の新規整備に関して調査中	強化	-		可能性調査				
28	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	⑥	雇用の創出・維持に向けた支援	b	また、既存立地企業の事業拡大に向けた支援を図り、積極的に取り組みます。	誘致企業の事業拡大支援	重	新規	・個別に相談対応、誘致企業への奨励措置	強化	-		誘致企業振興会における情報交換・人材交流の促進				
29	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	⑥	雇用の創出・維持に向けた支援	c	国の制度等を活用し、地域企業や創業希望者に対し、各種セミナーの開催など魅力ある雇用の創出に向けた支援を推進します。	雇用の創出に関する取組への支援	重	新規	・嘉麻市地域雇用活性化協議会（厚労省事業）による各種講習会の実施	継続/要検討	2-8_補助金利用数_雇用創出・維持に向けた支援（件）		セミナー等の企画・開催				
30	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	⑥	雇用の創出・維持に向けた支援	d	円滑な事業承継の促進に向けて、福岡県事業承継引継ぎ支援センターを活用し、事業承継を希望する中小企業者と経営資源を引き継ぐ意欲のある方とのマッチングを支援するとともに、商工団体や金融機関等との連携を図りながら、研修機会の提供を行います。	福岡県事業引継ぎ支援センターを活用した事業承継の支援	重	継続	・商工団体が支援センターと連携し、事業承継診断、県事業承継応援補助金の申請支援などを実施（R3商工会、商工会議所進捗報告） ・センター連携実績（R4商工会6件、R4商工会議所0件） ・商工会のプッシュ方支援でM&A案件も増加。支援先も一巡したため、再診断を実施し、承継や引継ぎを支援する（R4商工会事業報告）	継続	2-7_福岡県事業引継ぎ支援センターへの紹介事業者数（社）		福岡県事業承継ネットワーク運営会議への参画 事業承継診断の実施、支援センターへのフォードバック				

昇順	体系分類 1 コード	体系分類 1	体系分類 2 コード	体系分類 2	取組 コード	取組	取組略称	重要課題 位置づけ 状況	第1次計画との 関連	現状	実施方針区分	関連する数値目標	備考	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
31	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	⑥	雇用の創出・維持に向けた支援	e	経営者が早期に後継者の育成に着手できるよう、学習や相談の場を提供するなど、関係機関と連携して円滑な事業承継を支援します。	経営者に対する事業承継意識の醸成	重	新規	・商工団体による事業承継診断、支援センターとの連携支援	継続	2-7_福岡県事業引継ぎ支援センターへの紹介事業者数（社）		福岡県事業承継ネットワーク運営会議への参画 事業承継診断の実施、支援センターへのフォードバック				
32	2	中小企業者の経営基盤の安定強化を図る	⑥	雇用の創出・維持に向けた支援	f	事業承継を対象とした補助金制度を設けます。	移住定住起業チャレンジ支援補助金の実施及びPR	重	新規	・R5から移住定住起業チャレンジ補助金に事業承継を追加	継続/要検討	2-8_補助金利用数_雇用創出・維持に向けた支援（件）		補助事業の実施、効果検証、見直し				
33	3	中小企業の活用による地域内の経済循環の創出を図る	①	中小企業の製品、技術及びサービスに関する情報提供、事業者同士の連携促進	a	市内中小企業の商品、技術、サービス等を紹介する展示会やイベントの開催の支援、事業者同士のマッチングを促進することで、新たな取引の創出につなげるとともに、市内産品製品の市民の活用を促します。（4-①-aに再掲）	展示会やイベントの開催支援及び市内産品の市民の活用促進	重	継続	・市内事業者主催のマルシェ開設支援を実施（R2R3商工会進捗報告）	新規	3-1_企業マッチングの場の創設（件）	(関連目標) 3-3_商店街イベント・マルシェの開催回数の増（市の補助金対象の増）	イベントの開催・支援				
														市内産品活用促進の検討				
34	3	中小企業の活用による地域内の経済循環の創出を図る	①	中小企業の製品、技術及びサービスに関する情報提供、事業者同士の連携促進	b	地域経済の活性化に資する情報等については、市の広報誌やホームページ回覧板等を積極的に活用して周知を行います。（4-①-bに再掲）	地域経済の活性化に資する周知の支援	重	継続	・商工会が域外需要取り込みのためのHP作成、更新を支援（R3実績）	強化	-		情報発信の強化				
35	3	中小企業の活用による地域内の経済循環の創出を図る	①	中小企業の製品、技術及びサービスに関する情報提供、事業者同士の連携促進	c	異業種間の交流や市内中小企業の事業連携を促進し、域内取引の拡大を目指します。（4-①-cに再掲）	域内取引拡大のための事業者連携の促進	重	継続	・R2進捗状況より「キヨミドリ×豆腐」のマッチングによる高付加価値商品開発の支援の記載あり ・商工会がマルシェ開催支援、専門家による店舗診断やPOP作成など支援。嘉麻図鑑を発刊し、バイヤー向けにも提供（R3実績）	拡大	3-1_企業マッチングの場の創設（件）		情報収集 連携意向調査				
36	3	中小企業の活用による地域内の経済循環の創出を図る	①	中小企業の製品、技術及びサービスに関する情報提供、事業者同士の連携促進	d	域内調達率の向上に資する市内/筑豊地域内の事業者同士の取引を増やすための、デジタルツールを活用した個別の企業マッチングの支援など具体的な提案を行います。	事業者間連携促進の支援の提案	重	新規	・特に支援はない	要検討	3-2_市内中小企業の公共事業受率率（％）		情報収集 連携意向調査				
37	3	中小企業の活用による地域内の経済循環の創出を図る	②	公共事業における市内中小企業者の受注機会の拡大	a	市は、自らの工事発注、物品役務の調達に関して、市内経済の活性化の観点から、予算の適正な執行及び透明かつ公正な競争の確保に留意しつつ、市内中小企業者の受注機会の拡大を図り、市内中小企業の振興を推進します。 具体的には別途、市としての実施方針を定め、この方針に基づき計画的に取り組みます。	公共事業の受注機会拡大のための実施方針の策定	重	新規	・市内発注を継続	要検討	3-2_市内中小企業の公共事業受率率（％）		事例・情報収集				
														全庁的な公共事業発注先調査				
														発注率向上のための実施方針の検討・策定				
38	3	中小企業の活用による地域内の経済循環の創出を図る	③	地域資源・商店活用の促進	a	専門家のアドバイスや各種助成事業の活用により、市内産品を活用した新たな商品や販路開拓に積極的に取り組む中小企業を支援します。	専門家派遣等による支援		継続	・商談会、展示会出展におけるレイアウト、POP、フードコーディネート等の専門家派遣（商工団体） ・商品開発改善事業補助金による支援	継続	-		補助事業の実施、専門家派遣による支援				
														輸出など市場開拓・拡大に向けた情報の収集・提供				
														補助事業の実施、効果検証、見直し				
39	3	中小企業の活用による地域内の経済循環の創出を図る	③	地域資源・商店活用の促進	b	農林産物や加工技術等の地域資源を活用した商品開発に対する各種支援を通じて、高付加価値商品の創出を目指します。	高付加価値商品の創出		継続	・商品開発改善事業補助金の継続実施 ・商工団体による専門家派遣	継続/要検討	-		経営指導員による支援、専門家派遣の活用				
40	3	中小企業の活用による地域内の経済循環の創出を図る	③	地域資源・商店活用の促進	c	地域資源を活用した商品やサービスの競争力を高めていくことにより、魅力ある地域ブランドへと進展させます。	競争力のある地域ブランドの確立		継続	・商品開発改善事業補助金の継続実施 ・ふるさと納税の継続実施	継続/要検討	-		補助事業の実施、効果検証、見直し				
														経営指導員による支援、専門家派遣の活用				
														ふるさと納税への出品促進				
41	3	中小企業の活用による地域内の経済循環の創出を図る	③	地域資源・商店活用の促進	d	市内外の消費者に地元商品をPRし、生産者が商品価値を再評価できる場所や機会を提供する取り組みを検討します。	地元商品をPRする場所や機会提供の取組みの検討		継続	・商工団体がR3に2件イベントを実施	継続	3-3_商店街イベント・マルシェの開催回数_市補助金対象（回）		イベントの開催・支援				
42	3	中小企業の活用による地域内の経済循環の創出を図る	③	地域資源・商店活用の促進	e	空き店舗や空き地の活用の促進、市バスなどとコラボしたイベントの開催などを支援することで、商店街の魅力向上や賑わいづくりにつなげます。	市バス等とのコラボによる商店街の活性化		継続	・チャレンジ支援補助金の加算により一部商店街の支援 ・R4〜大橋商店街で山田ブギウギ祭りが開催されている（県商店街活性化推進事業活用）	継続	3-3_商店街イベント・マルシェの開催回数_市補助金対象（回）		イベントの開催・支援				
43	3	中小企業の活用による地域内の経済循環の創出を図る	③	地域資源・商店活用の促進	f	消費喚起及び地域内の経済循環を促す目的で、プレミアム付き地域商品券の発行および利用を促進します。	プレミアム商品券の発行		継続	・嘉麻さいはっ券、カマデポの実施 ・R5プレミアム付き商品券の発行 ・地域通貨は未着手 ・R5事業よりデジタル化推進のため紙との補助率等を変更	継続	-		プレミアム商品券発行など経済循環促進施策の検討・実施				
44	3	中小企業の活用による地域内の経済循環の創出を図る	③	地域資源・商店活用の促進	g	さらに、デジタル化に対応した地域通貨の導入についても調査研究を進めます。	地域通貨の導入に関する調査・研究		新規	・なし	要検討	-		協定				
45	3	中小企業の活用による地域内の経済循環の創出を図る	③	地域資源・商店活用の促進	h	嘉麻市の高いマイナンバーカード普及率を踏まえ、デジタル技術を活用した新規製品サービスの開発実装に向けた取り組みを支援します。	デジタル技術による新サービス等の開発支援		新規	・支援なし	要検討	3-4_デジタルを活用し、新サービスを開始した企業数（件）		マイナンバーの普及促進				
														デジタル化推進のための個別支援、専門家派遣				

昇順	体系分類 1 コード	体系分類 1	体系分類 2 コード	体系分類 2	取組 コード	取組	取組略称	重要課題 位置づけ 状況	第1次計画との 関連	現状	実施方針区分	関連する数値目標	備考	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)		
46	4	中小企業者の新たな事業展開の促進を図る	①	新技術・新商品の開発支援と連携促進（中小企業の製品、技術及びサービスに関する情報提供、事業者同士の連携促進(再掲)）	a	市内中小企業の商品、技術、サービス等を紹介する展示会やイベントの開催の支援、事業者同士のマッチングを促進することで、新たな取引の創出につなげるとともに、市内産品製品の市民の活用を促します。（3-①-aの再掲）	新規取引及び市内産品活用の促進に関する支援	重	継続	・マルシェの開催・支援	要検討	4-5_企業マッチングの場の創設（件）		マルシェ等イベントの開催・支援						
47	4	中小企業者の新たな事業展開の促進を図る	①	新技術・新商品の開発支援と連携促進（中小企業の製品、技術及びサービスに関する情報提供、事業者同士の連携促進(再掲)）	b	地域経済の活性化に資する情報等については、市の広報誌やホームページ回覧板等を積極的に活用して周知を行います。（3-①-bの再掲）	地域経済活性化に関する情報の市民等への提供	重	継続	・実施	強化	-		情報発信の強化						
48	4	中小企業者の新たな事業展開の促進を図る	①	新技術・新商品の開発支援と連携促進（中小企業の製品、技術及びサービスに関する情報提供、事業者同士の連携促進(再掲)）	c	異業種間の交流や中小企業の事業連携を促進し、取引の拡大を目指します。（3-①-cの再掲）	取引拡大のための事業者間連携支援	重	継続	・商工団体、嘉麻市地域雇用活性化協議会によるセミナー ・誘致企業振興会等における交流	継続/要検討	4-5_企業マッチングの場の創設（件）		異業種交流促進の検討					セミナー等の開催・支援	
49	4	中小企業者の新たな事業展開の促進を図る	①	新技術・新商品の開発支援と連携促進（中小企業の製品、技術及びサービスに関する情報提供、事業者同士の連携促進(再掲)）	d	独自の技術ノウハウを持った創造的中小企業を育成するため、中小企業の経営革新計画/事業計画の策定を支援します。（2-③-aの再掲）	経営革新計画/事業計画の策定支援	重	継続	・商工団体が作成を支援	継続	4-3_経営革新計画の策定事業者数（社）	（関連目標） 4-4_事業計画の策定事業者数の増	経営指導員等による支援						
50	4	中小企業者の新たな事業展開の促進を図る	①	新技術・新商品の開発支援と連携促進（中小企業の製品、技術及びサービスに関する情報提供、事業者同士の連携促進(再掲)）	e	計画策定後も継続的なフォローアップを行うとともに、計画に位置付けた新たな取り組みへの支援策を導入します。（2-③-bの再掲）	計画策定後のフォローアップ及び新たな取組みへの支援	重	継続	・商工団体がフォローアップ等を実施（専門家派遣、経営指導員による適宜指導	継続	4-4_事業計画の策定事業者数（社）		経営指導員等によるフォローアップ						
51	4	中小企業者の新たな事業展開の促進を図る	①	新技術・新商品の開発支援と連携促進（中小企業の製品、技術及びサービスに関する情報提供、事業者同士の連携促進(再掲)）	f	中小企業同士や誘致企業、スタートアップとのマッチングを行う異業種間交流の開催や産学官連携の支援によって、自社単独では困難な新商品サービス開発、およびその実現のための事業連携の機会などを提供することで、中小企業の販売力の向上や新たな分野への進出につなげます。	異業種交流や産学官連携の支援	重	改	・嘉麻市誘致企業振興会で企業間の交流を図っている ・一社）嘉飯桂産業振興協議会で情報提供事業、情報交流事業、人材育成事業を実施している（嘉麻市の業者数6社/全83社） ・R3商工団体報告において産学官連携の実績なし	要検討	-	誘致企業振興会における異業種交流や新規会員獲得のための施策の検討・実施		産学官支援の促進・支援		連携意向調査、支援策検討			
52	4	中小企業者の新たな事業展開の促進を図る	①	新技術・新商品の開発支援と連携促進（中小企業の製品、技術及びサービスに関する情報提供、事業者同士の連携促進(再掲)）	g	福岡県工業技術センターにおける技術相談、受託研究、設備機器利用等を通じて中小企業の技術の高度化を支援します。	福岡県工業技術センターを活用した技術の高度化の支援	重	継続	・R2進捗状況では事業主体が商工団体になっていて、実績なし ・R3実績なし ・福岡県工業技術センターへの相談等は、企業が直接または商工団体を通じて行われている	継続	-		情報提供、技術相談の支援						
53	4	中小企業者の新たな事業展開の促進を図る	①	新技術・新商品の開発支援と連携促進（中小企業の製品、技術及びサービスに関する情報提供、事業者同士の連携促進(再掲)）	h	域内調達率の向上に資する市内/筑豊地域内の事業者同士の取引を増やすための、デジタルツールを活用した個別の企業マッチングの支援など具体的な提案を行います。（3-①-dの再掲）	（再掲）	重	新規	（再掲）	-	4-5_企業マッチングの場の創設（件）	（再掲）	情報収集 連携意向調査						
54	4	中小企業者の新たな事業展開の促進を図る	②	地域資源を活用したツーリズムの振興	a	第3次嘉麻市観光振興基本計画(R4～R8)に基づき、豊かな自然環境、歴史に培われた文化、福岡県のほぼ中心という地理的優位性を生かし本市の魅力的な観光資源の活用と発掘を図り、デンマークのライフスタイルである「HYGGE(ヒュッグ)」やSDGsへの取組みにより「住む人、訪れる人へ、心地いい時間と空間の継続的な提供」を行い、嘉麻ファンの獲得、市民のシビックプライドの醸成を目指します。	地域特性を活かしたツーリズムの振興		改	・第3次観光振興基本計画に基づく事業の実施		4-2_観光入込客数（千人/年）	（関連目標） 4-1_全体観光消費額の増	・体験型、滞在型観光コンテンツの充実 ・アウトドアシティ嘉麻のブランディング ・組織体制の強化						
55	4	中小企業者の新たな事業展開の促進を図る	②	地域資源を活用したツーリズムの振興	b	アウトドア活動を基盤とする観光交流地域の創造を目指した『アウトドアシティ宣言』により「HYGGE」を基調とし嘉麻流アウトドアによる心地いい空間と時間の提供を取り入れたツーリズムの振興に取り組みます。こうした地域資源を活用したツーリズムの振興により、交流人口の拡大、ひいては観光消費額観光入込客数の増大に取り組みます。	観光拠点施設を活かした観光消費額の増大		改	・第3次観光振興基本計画に基づく事業の実施		4-1_全体観光消費額（千円）	（関連目標） 4-2_観光入込客数の増	・体験型、滞在型観光コンテンツの充実 ・アウトドアシティ嘉麻のブランディング ・組織体制の強化						

昇順	体系分類1コード	体系分類1	体系分類2コード	体系分類2	取組コード	取組	取組略称	重要課題位置づけ状況	第1次計画との関連	現状	実施方針区分	関連する数値目標	備考	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)
56	4	中小企業者の新たな事業展開の促進を図る	②	地域資源を活用したツーリズムの振興	c	域内に製品サービスを提供する傾向が強い嘉麻市の中小企業にとって新たなビジネスチャンスとなるように、創業意欲の向上や、売上増加に対するアドバイスなど、地域の中小企業がビジネスチャンスを活かせる取り組みを支援します。	ツーリズム振興との相乗効果獲得の支援		改			4-4_事業計画の策定事業者数（社）	（関連目標） 4-5_企業マッチングの場の創設（件）					
57	4	中小企業者の新たな事業展開の促進を図る	③	農商工連携の促進	a	中小企業と農林業者との連携を図り、本市の基幹産業の一つである農林業から生まれる一次産品に付加価値を付け、新たな商品開発を推進します。	一次産品に付加価値を付け、新たな商品開発を行うための支援	重	継続	・商品開発改善事業補助金の実施 ・R2キヨミドリの豆腐の開発 ・第2次食料・農業・農村基本計画（R5-R14）→「事業者は、農業者と連携して、地域農産物を使用した農産加工品開発に努め、嘉麻市の地域ブランド作りに務めます」	要検討	-						
58	4	中小企業者の新たな事業展開の促進を図る	③	農商工連携の促進	b	県や関係機関と連携し、商品開発の支援や、農林業者と商工業者とのマッチング等により農商工連携や6次産業化の取り組みを推進します。	農商工事業者のマッチング支援や6次産業化の支援	重	継続	・農商工連携の事例あり（農家×菓子製造）	要検討	4-5_企業マッチングの場の創設（件）						
59	4	中小企業者の新たな事業展開の促進を図る	③	農商工連携の促進	c	農林振興と中小企業振興の連携のあり方についての調査研究を行います。	農商工連携に関する調査・研究	重	新規	・タマネギを生産し、加工品向けに加工して出荷する形態がある。OEMでドレッシングなどを販売 ・市内の山田錦を使って清酒を製造、販売。市内の青果を使って菓子/弁当製造、販売。	要検討	-						
60	5	中小企業の人材の確保及び育成並びに職場環境の整備の促進を図る	①	地域の中小企業への就労促進	a	UI ターンによる市内企業への就職を促進するため、ハローワーク等の関係機関と協力して市内求人企業等の情報提供を行うとともに、嘉麻市地域雇用活性化協議会と連携し、求職者と市内企業とのマッチングの機会を提供します。即戦力となる人材を求める企業に向けては、中途採用経験者採用のための支援を行います。	市内企業への就職促進（マッチング支援）	重	改	・嘉麻市地域雇用活性化協議会による就職希望者相談会の実施 ・商工会議所では企業と求職者のマッチングは個別対応で実施（R3進捗報告より）	継続/要検討	5-2_インターンシップ生受け入れ件数（件）	（関連目標） 4-5_企業マッチングの場の創設					
61	5	中小企業の人材の確保及び育成並びに職場環境の整備の促進を図る	①	地域の中小企業への就労促進	b	地元企業への就職意欲を高めるため、中小企業や関係機関、小中学校や高等学校、大学等の教育機関との連携のもと、企業見学、職場体験、長期/短期インターンシップ等を推進します。	市内企業への就職促進（地域雇用推進）	重	改	・嘉麻市地域雇用活性化協議会による学生向け職場体験イベントの開催 ・筑豊地域インターンシップ推進協議会による近大学生の企業バスツアーの開催 ・商工会では広報誌、HPによる情報発信を実施（R3進捗報告より）	継続	5-2_インターンシップ生受け入れ件数（件）						
62	5	中小企業の人材の確保及び育成並びに職場環境の整備の促進を図る	①	地域の中小企業への就労促進	c	行政・企業・大学との連携による長期インターンシップのあり方を検討する勉強会を開催します。	市内中小企業の魅力の発信	重	新規	・R3に実績8件（インターンシップ推進協議会による勉強会開催）	継続	5-2_インターンシップ生受け入れ件数（件）						
63	5	中小企業の人材の確保及び育成並びに職場環境の整備の促進を図る	①	地域の中小企業への就労促進	d	保護者や将来の働き手である生徒を含めた地域住民に対し、地元企業の認知度を高め、理解を深める機会を作ります。	市内中小企業の魅力の発信	重	新規	・R2進捗状況では広報誌による企業照会実績が記載 ・R3に実績12件（企業動画作成）	継続	5-1_地域住民への地域企業の広報件数（件）						
64	5	中小企業の人材の確保及び育成並びに職場環境の整備の促進を図る	①	地域の中小企業への就労促進	e	新卒学生の採用活動への支援を行います。	新卒採用活動の支援	重	新規	・高校生バスツアーを実施 ・今は、企業が大学の学生課などに個別に相談をしている ・嘉麻市地域雇用活性化協議会による就職相談会の実施	継続	5-2_インターンシップ生受け入れ件数（件）						
65	5	中小企業の人材の確保及び育成並びに職場環境の整備の促進を図る	①	地域の中小企業への就労促進	f	市内にはアパート等の賃貸物件が少なく、人材確保時の一つのハードルになっているため、空き家バンク制度や空き市営住宅の利活用を検討します。	空き家バンクや空き市営住宅の利活用の検討	重	継続	・空き家バンク制度、転入者等住まい応援交付金、結婚新生活支援事業補助金など実施 ・企業からの相談に随時対応している	継続/要検討	-						
66	5	中小企業の人材の確保及び育成並びに職場環境の整備の促進を図る	②	技術・技能の継承	a	中小企業の従業員の技術技能習得のための支援や、関係機関によるセミナー等により、キャリアアップスキルアップにつながる機会の提供を支援します。	従業員の技術向上支援	重	継続	・嘉飯桂産業振興協議会が協賛企業に対して支援（情報提供、情報交流、人材育成など） ・商工団体による巡回、窓口相談の実施 ・商工会では広報誌、HPによる情報発信しているが、周知方法に課題あり（R3進捗報告より） ・中小企業大学校への研修費は商工団体による助成がある ・中小企業大学校直方校が中小企業向け研修等を実施	継続	5-3_中小企業大学校の直方校の年間研修受講者数（人）						
67	5	中小企業の人材の確保及び育成並びに職場環境の整備の促進を図る	②	技術・技能の継承	b	次世代を担う若い世代の横の連携コミュニケーションを促進するための体制づくりを支援します。	若年世代のコミュニケーション体制づくりの支援	重	継続	・R2、R3進捗状況では実績なし（商工団体）	継続/要検討	-						
68	5	中小企業の人材の確保及び育成並びに職場環境の整備の促進を図る	②	技術・技能の継承	c	国や県、関係機関と連携し、技術技能の習得やキャリアアップのための情報提供を行います。	技術・技能の習得やキャリアアップのための情報提供	重	継続	・商工団体が実施中 ・R2進捗状況では商工団体が技能講習を行った実績を記載	継続	5-3_中小企業大学校の直方校の年間研修受講者数（人）						

昇順	体系分類 1 コード	体系分類 1	体系分類 2 コード	体系分類 2	取組 コード	取組	取組略称	重要課題 位置づけ 状況	第1次計画との 関連	現状	実施方針区分	関連する数値目標	備考	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
69	5	中小企業の人材の確保及び育成並びに職場環境の整備の促進を図る	③	安心して働ける労働環境の整備促進	a	中小企業の経営者や管理職等の意識改革を促すためのセミナーの開催や啓発のための広報活動を展開するなど、ワークライフバランスを推進する企業への支援に取り組みます。	ワークライフバランス推進企業の意識改革支援	重	継続	・企業からの相談に随時対応 ・広報誌やホームページによる企業紹介 ・商工会議所では労働環境改善のための助成があり、周知するが活用実績なし（R3進捗報告より）	継続	-		関係機関との連携・協議				
														啓発冊子の配布や出前講座等の実施				
70	5	中小企業の人材の確保及び育成並びに職場環境の整備の促進を図る	③	安心して働ける労働環境の整備促進	b	家事育児との両立を目指す女性等の雇用を創出するとともに、中小企業の業務生産性や効率性を高めるため、テレワークの拡大を目指します。	子育て世代の雇用の創出とテレワークの拡大	重	継続	・企業からの相談に随時対応	要検討	-		関係機関連携協議				
														支援策の実施				
71	5	中小企業の人材の確保及び育成並びに職場環境の整備の促進を図る	③	安心して働ける労働環境の整備促進	c	女性の活躍推進を行う企業の「えるばし認定」、出産育児の支援体制のある子育てサポート企業の「くるみん認定」、福岡県の「よかばいかえるばい企業」や「子育て応援宣言企業」、「介護応援宣言企業」等の登録に向けた情報発信や、イクボス研修等の各種セミナーの案内により、女性が活躍することをはじめ、魅力のある安心して働ける労働環境の整備促進を目指します。	働きやすい職場環境の整備促進（子育て世代の活躍）	重	新規	・各認定を受ければ補助金のポイント加算などメリット措置がある ・対象事業者は全国でも少ない	強化	-		随時相談対応、情報提供、補助事業等の活用支援				
72	5	中小企業の人材の確保及び育成並びに職場環境の整備の促進を図る	③	安心して働ける労働環境の整備促進	d	女性に加え、高齢者、外国人、障がい者など、多様な人材が安心して働き、活躍できる職場環境の整備を支援していきます。このことで、企業における人手不足などの課題解決につなげます。	働きやすい職場環境の整備促進（さまざまな人材の活躍）	重	新規	・企業からの相談に随時対応 ・各機関による支援 →福岡県生涯現役チャレンジセンター（飯塚オフィス）、福岡県外国人材受入企業相談窓口、公共職業安定所など ・嘉麻市誘致企業振興会として人材確保事業によるパンフレットを作成	強化	-		随時相談対応、情報提供、補助事業等の活用支援				
73	5	中小企業の人材の確保及び育成並びに職場環境の整備の促進を図る	③	安心して働ける労働環境の整備促進	e	また、副業の解禁や、2居住拠点を可能とするリモートワークなどの柔軟な働き方が、企業における人手不足の課題解決に寄与しうることを念頭に、企業の新たな働き方に関する調査研究を行います。	新しい働き方に関する調査・研究	重	新規	・嘉麻市地域雇用活性化協議会による2居住拠点のモニターツアーを実施（どちらかというに移住に近いイメージ） ・会社間の繁閑期における人材派遣について、かつて企業から話を聞いたことがあるが、進んでいない	要検討	-		調査企画、調査研究報告				
74	6	小規模企業者の事業の持続的な発展を図る	①	事業計画策定及び円滑な資金調達の支援	a	商工団体の経営指導員等による巡回指導や窓口相談を通じて、小規模企業者の経営革新計画/事業計画の策定を支援するなど、伴走型支援を行います。	事業計画の策定支援		改	・商工会が経営発達支援計画の認定を受けて伴奏型小規模事業者支援推進事業を実施	継続	6-1_商工会・商工会議所の相談・指導件数（件）	（関連目標） 6-2_経営革新計画の策定事業者数の増 6-3_事業計画の策定事業者数の増	経営指導員等による計画策定支援				
75	6	小規模企業者の事業の持続的な発展を図る	①	事業計画策定及び円滑な資金調達の支援	b	計画策定後も継続的なフォローアップを行うとともに、計画遂行に必要な情報提供などの支援を行います。	計画策定後のフォローアップ及び情報提供		継続	・商工団体が実施中	継続	6-3_事業計画の策定事業者数（社）	（関連目標） 6-2_経営革新計画の策定事業者数の増	経営指導員等によるフォローアップ及び情報提供				
76	6	小規模企業者の事業の持続的な発展を図る	①	事業計画策定及び円滑な資金調達の支援	c	国、県の低利融資制度や日本政策金融公庫が取り扱う小規模事業者経営改善資金（マル経融資）の活用により、小規模企業の金利負担の軽減を図ります。	国、県等の低利融資の活用の促進		継続	・金融機関や国・県による各種事業の実施、商工団体による申請支援 ・市によるセーフティネット認定	継続	6-1_商工会・商工会議所の相談・指導件数（件）		情報提供や窓口相談の実施				
77	6	小規模企業者の事業の持続的な発展を図る	②	生産性の向上及びICTの活用による売上拡大の支援（デジタル化促進に向けた支援(再掲)）	a	商工団体の経営指導員等による巡回指導や窓口相談を通じて、収益力を向上し持続的な経営を行うためのノウハウの習得など、小規模企業の生産性向上を支援します。	巡回指導等による生産性向上支援（ICT活用）		継続	・商工団体が小規模事業者を対象とした面談等で支援	継続/要検討	6-1_商工会・商工会議所の相談・指導件数（件）		巡回指導や窓口相談の実施、セミナーの企画・開催				
78	6	小規模企業者の事業の持続的な発展を図る	②	生産性の向上及びICTの活用による売上拡大の支援（デジタル化促進に向けた支援(再掲)）	b	インターネット通販をはじめ ICT の活用を促進し、提供する商品やサービスが地域の消費に依存している小規模企業の域外への販路開拓を支援します。	巡回指導等による域外販路開拓支援（ICT活用）		継続	・商工団体が講習会等で実施中	継続	-		巡回指導や窓口相談の実施、セミナーの企画・開催				
79	6	小規模企業者の事業の持続的な発展を図る	②	生産性の向上及びICTの活用による売上拡大の支援（デジタル化促進に向けた支援(再掲)）	c	情報通信技術の研修機会の提供を通じて、ホームページの開設やネットビジネスの展開等、中小企業のデジタル化を促進します。	研修機会の提供によるデジタル化の促進		新規	・商工団体が講習会等で実施中 ・嘉麻市地域雇用活性化協議会で実施計画（デジタルによる新規顧客拡大セミナー、PRセミナー、採用力強化セミナーなど） ・R5デジタルまつり	継続	6-4_補助金利用数_デジタル化促進支援（件）		セミナー・イベントの企画・開催				
80	6	小規模企業者の事業の持続的な発展を図る	②	生産性の向上及びICTの活用による売上拡大の支援（デジタル化促進に向けた支援(再掲)）	d	企業のデジタル化は、経営者の経営判断が速くなること、業務効率の改善により生産性の向上、人手不足の解消や従業員の負担軽減、デジタル化された他社と繋がることによる導入効果の増大などが期待されるため、今後の取り組みが必要となります。	企業のデジタル化の支援		新規	・商工団体の巡回指導等の実施 ・経営革新計画遂行支援事業でデジタル化を支援	強化	2-2_企業におけるデジタル化進捗割合（％）	（再掲）	巡回指導、補助事業の実施、行政サービスのデジタル対応の				

昇順	体系分類1コード	体系分類1	体系分類2コード	体系分類2	取組コード	取組	取組略称	重要課題位置づけ状況	第1次計画との関連	現状	実施方針区分	関連する数値目標	備考	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)
81	6	小規模企業者の事業の持続的な発展を図る	②	生産性の向上及びICTの活用による売上拡大の支援(デジタル化促進に向けた支援(再掲))	e	中小企業のデジタル化の促進を支援することで、社内の生産性の向上だけではなく、将来的には新たな価値の創造につながる取り組みを行います。(2-①のaの再掲)	(再掲)		新規	(再掲)	(再掲)	6-5_個人事業者におけるデジタル化進捗割合(%)	(再掲)	巡回指導や窓口相談の実施				
82	6	小規模企業者の事業の持続的な発展を図る	②	生産性の向上及びICTの活用による売上拡大の支援(デジタル化促進に向けた支援(再掲))	f	嘉麻市および商工団体において、経営におけるデジタル化の必要性の啓発を行います。(2-①のbの再掲)	(再掲)		新規	(再掲)	(再掲)	6-5_個人事業者におけるデジタル化進捗割合(%)	(再掲)	経営指導員等による支援及びフォローアップ				
														情報発信の強化、アンケート・進捗調査の実施				
83	6	小規模企業者の事業の持続的な発展を図る	②	生産性の向上及びICTの活用による売上拡大の支援(デジタル化促進に向けた支援(再掲))	g	嘉麻市として、デジタル化促進の取り組みを支援する補助金制度を設けます。(2-①のcの再掲)	(再掲)		新規	(再掲)	(再掲)	6-4_補助金利用数_デジタル化促進支援(件)	(再掲)	補助事業の実施、効果検証、見直し				
84	6	小規模企業者の事業の持続的な発展を図る	②	生産性の向上及びICTの活用による売上拡大の支援(デジタル化促進に向けた支援(再掲))	h	デジタル化の促進に向け、商工団体および嘉麻市において、成功先進事例などの情報提供を行います。(2-①のdの再掲)	(再掲)		新規	(再掲)	(再掲)	6-5_個人事業者におけるデジタル化進捗割合(%)	(再掲)	成功事例の調査、情報提供の強化				
85	6	小規模企業者の事業の持続的な発展を図る	②	生産性の向上及びICTの活用による売上拡大の支援(デジタル化促進に向けた支援(再掲))	i	商工団体や福岡県、嘉麻市の持つデジタル化促進に向けた相談窓口の紹介を行います。(2-①のeの再掲)	(再掲)		新規	(再掲)	(再掲)	6-5_個人事業者におけるデジタル化進捗割合(%)	(再掲)	相談に応じて適宜対応				
86	6	小規模企業者の事業の持続的な発展を図る	③	その他小規模企業者の事業の持続的な発展を図るために必要な施策	a	様々な経営課題にワンストップで対応できる相談窓口を設置し、個別の相談指導を行うとともに、必要に応じてより専門性の高い支援機関や各種専門家を紹介するなど、商工団体と連携し伴走型支援体制を強化します。	ワンストップ相談窓口の設置や専門家派遣の支援		継続	・商工団体が経営全般の支援を実施 ・必要に応じて専門家派遣を実施することでワンストップを実現	継続	6-1_商工会・商工会議所の相談・指導件数(件)		巡回指導や窓口相談の実施				